

# 議 会 広 報 広 聴 委 員 会 記 録

令和3年12月22日（水）  
13時29分～15時58分  
全 員 協 議 会 室

- 【出席者】三浦委員長、村武副委員長、  
肥後委員、村木委員、大谷委員、沖田委員、川上委員、小川委員、  
上野委員、川神委員  
【事務局】近重係長、小寺書記  
【印刷業者】株式会社タカハシ包装センター 三浦課長  
株式会社キョウワ 小尾氏（ZOOMで出席）

## 議題

### 1 はまだ議会だよりVol. 64の編集について…………… 資料1

#### (1) 校正作業

ページ	担当委員	記事
1-5	川上委員 肥後委員	表紙、12月定例会議ポイント、トピックス、 議案の賛否、個人一般質問（7名分）
6-9	小川委員 上野委員	個人一般質問（14名分）、まるよみ
10-12	沖田委員 川神委員	委員会活動レポート、市民対談（1/3）
13-16	大谷委員 村木委員	市民対談（2/3）、読者アンケート回答、 今号の読者アンケート、あとがきほか

#### (2) その他

### 2 広聴機能の整理について…………… 資料2

#### (1) 意見共有

#### (2) その他

### 3 その他

#### (1) 市議会HPについて

#### (2) miniについて

#### (3) その他

【次回委員会開催予定日】令和4年1月19日（水）13：30～ 全員協議会室

【議事の経過】

[ 13時 29分 開議 ]

三浦委員長

議会広報広聴委員会を始めたい。出席委員は10名で定足数に達している。本日の議題は、はまだ議会だよりVol. 64の編集についてと、広聴機能の整理について、その他報告事項、協議事項が少しある。順に進めていきたい。よろしく願います。

1. はまだ議会だよりVol. 64の編集について

(1) 校正作業

三浦委員長

分担して校正作業に入りたいが、事前に話していたとおり担当があるので、冒頭10分間くらい時間を取るなので、改めてそれぞれ担当ページを見ていただき、校正作業を始めたい。

《 以下、校正作業 》

三浦委員長

タカハシ包装センターさんはここでご退席される。引き続きよろしく願います。

《 三浦課長、 小尾氏退席 》

(2) その他

三浦委員長

その他、皆から何かあるか。

( 「なし」という声あり )

2. 広聴機能の整理について

(1) 意見共有

三浦委員長

皆から意見を伺いたい。まず配信された資料について小寺書記から説明をお願いします。

小寺書記

( 以下、資料をもとに説明 )

三浦委員長

広聴機能の整理ということで一覧表を作成してもらったのが、何かゴールをとというわけではなく、今ある広聴機能というものに対して、どう整理していったらよいか、頭出しではないがしていきたいと思っている。

現状について率直に、説明されたこの資料も参考にしながら、皆の意見を少し伺っていききたい。順番でもどなたからでも。

川上委員

地域井戸端会については今こういう状況なのでなかなか難しいかもしれないが、やはり地域に出向いて皆と対面で話ができるのは非常によい。オンライン実施も検討する必要があるかと思う。

それから、はまだ市民一日議会（以下、市民一日議会）については、せっかくやったのだから次もしたいのだが、いろいろ問題があったのでそれはなるべく早く整理して、次の実施に移りたい。そこまではぜひやりたい。

肥後委員

先ほど川上委員がおっしゃったように、市民一日議会はY o u T u b eで拝見したが、これは何とかルールづくりをしっかりと皆で協議して、ぜひ続けていければと思っている。

あと陳情についてはいろいろ問題が多々あるようで、これもルールをどうにか皆でつくっていかないといけない。ただ、特定の人のみならず結局市民全員になってくるので、またいろいろな方が出てこられると思うので、制度をしっかりと、仕組みづくりをよりよくするために、また声が上げやすいように、こちら側もつくっていかないといけないと思っている。

三浦委員長

今取り組んでいるこういったことの全体のバランスといったものについて、もしお考えがあればお聞かせいただければ。

肥後委員

少しわからないのが、議長何でもメールというのが。私らに情報があるのかなというのが。

三浦委員長

議長に何でも言える、一応そういう手段も用意している。

小寺書記

市議会ホームページのトップページから議長なんでもメールは右下にリンクがあり、そちらに回答様式があって、メールでこちらに届いてくるというもので、今年度からは匿名での回答も受け付けるようにしている。なるべく問い合わせいただきやすいように考えているところである。

小川委員

今の議長なんでもメールというのは、来たメール全ての回答を載せているわけではない。多分それは無理だろう。この表の中に陳情というものもあるが、広聴機能の中に陳情が含まれるかどうか、それが妥当かどうかわかりにくいのだが。その中に入るべきものなのかと率直に感じた。肥後委員が言われたように、ルールづくりや陳述の面も書いてあるが、議会広報広聴委員会としてテリトリーの中に入るのかどうか。

あと最初を書いてあるように、議会基本条例で制定されている

この議会報告会と地域井戸端会は、たまたまコロナの影響で少し見合わせているだけだが、条件が調べばその段階でスタートは切れる中身だと思う。

あと市民一日議会については、やはりまだルール化が不十分なところがあって、今後どうするか、やるかやらないかすら方向性を見出せてない環境にあるのかなと感じる。

三つ目の地域協議会との関係については、昨年やったところについては今後継続的にやってほしいという要望があったが、これに対してではどのようにするかも、まだ十分煮詰めてないところがある。そういう意味ではなかなか方向性が出てないが、どれも少し皆と相談しながら、できるところからきちんと再開していき、今後の方向性を持って市民一日議会についても年1回はやっていこうとか、犬山市のように定例会議ごとにとするのは難しいにしても、年に1、2回など、そういう方向性くらいは少し検討したほうがよいと思っている。

上野委員

今まで議会報告会や地域井戸端会を毎年やっているが、このところコロナ禍の関係でできないということで、特に私らの地域では、議員がこちらへ来てあのようなことをすればよいが今ごろはしないのかという声が盛んに聞かれている。できるだけオンラインなどでできればそういう形でもよいし、やっているところを見せたほうがよい気がしている。

また、議長なんでもメールは、かかわったのでわかるが、かかわらないと、何が送ってこられるのかわからないということで。かかわったにして、自分は悪いことはしてないのにと考えたときに、誰に相談したらよいかもわからない。できるだけ多くの人に見て、かかわれる方法ができればよい。

沖田委員

2年間議会広報広聴委員会を離れていて、2年の間に随分充実してきたのではないかというのが、全体を見た感想である。その中で、地域井戸端会が今はできないかわりに市民一日議会もだが、去年は地域協議会との意見交換会を初めてやって、先ほど小川委員も言われて、これは意外と定着化してもよい。地域の代表の方の声を聴くのは、非常に大事なことだろうとまず思う。その中で地域協議会との意見交換会プラス地域井戸端会をやっていくのも、より丁寧だと思うのだが、議員も時間的にも能力も限りがある中

で、ここ二つをやるのも一つだろうし、またかねてより少し意見が出ていたいろいろな業界団体との意見交換会をやってもよいのかなとも思う。

川神委員

コロナ禍なので議会報告会や地域井戸端会ができてないのは大変残念だが、これは非常に価値のある問題で。何が問題かという、やはり参加者の固定化や、一定の意識の人間しか出てこられない。これをどうやって広げるか、どうやって敷居を下げていろいろなことが何でも言える、聴ける雰囲気はどうつくるかが今からの一番大きな課題だと思っている。

3番目の地域協議会との意見交換会、これは結構濃い会議になるが、本当ならこういう方を中心としたプラスアルファで議会報告会という、それにくっつけた格好で少し拡大させてやるのも、方法なのだろうか。別個で考えるのではなく、ある意味では包含しながらやるのも一つの方法かとは思っている。

それと市民一日議会に関しては皆言われているが、私も議長席で仕切りをして、いろいろな課題を見た。ルールができていないの一言といえば一言だが、特に学生や若者はあの中に入ることで自身体でいろいろな刺激を受けている。議会と市民との距離感を縮めるために広報広聴機能はあると思うが、議場に入って適度な緊張感の中で物をしゃべるのは大きな経験だった。そういう経験をたくさんしてほしいし、あそこに行ってしゃべることによって市政に少しでも意識を持っていただけると、大きなプラス。むしろ議員側のルールをつくりながら、私はこの制度はさらに成熟させていくべきだろうと思っている。今後はそういったところを、議論しなければならないと思っている。

あとアンケートや議長なんでもメールというのは、いろいろな見方があるが、下の陳情は議会運営委員会のほうでいろいろな仕組みづくりやルールづくりをやっているんで、その辺の進捗状況も併せて話していかないと、延長線上にはあるが今は主な舞台は議会運営委員会かなと思っている。

大谷委員

まず確認だが、陳情はこの委員会の所管か。

三浦委員長

説明が足りなかったかもしれないが、広聴機能の整理ということで、これは議会全体で市民の方が議会に対してどういう方法で意見を述べるができるかを、全体的に整理した図になってい

る。一つ一つを議会広報広聴委員会が所管しているとか、そういうものではない。全体感を持ってその中で重複感なく整理していく必要もあるのではないかという意味合いでの情報提供資料である。そのように捉えていただけたら。

大谷委員

基本は各議員が関係の方々、地域の方々から意見を聴いて、それを議会に反映していくところが議会。それが基本とはいいながら、つながっているところは限定されてしまうところが往々にしてあるので、そうしたところとつながっていない方々にも公平かつ適正な形で意見収集できるような場面として、それぞれの機能があると思うので、そういう流れの中でそれぞれの役割があるという点ではよいことだと思う。

先ほども出たように、市民一日議会について、特に若い人からの声が有効であったということだが、これは私もそのように思う。やはり、先ほどのルールのところでもあったが、設定をうまくする中でとりわけ若い方々に浜田に関心を持ってもらう観点を持つと、そういう方々に合わせたテーマ設定をしながら市民一日議会をするとか、いろいろ運営の仕方、ルールづくりもあろうかと思う。その辺はうまいことまとまった形でできればよいかと思う。

あとコロナのこともあって地域に出かけることができてない状況ではあるが、これはこれで、地域の方にとっては大変身近に感じることになるので、何らかの形でつながる会を持てればよい。

最後の陳情については、願意と理由が明確でないと言審議しにくいと今回思った。書式やその他何か、ある程度枠の中で示していただくと、こちらは審議しやすいという感想を持った。

村木委員

いろいろな角度から広聴されることが、私自身まだ議員になって数か月だが、まとめることができた。やはり聴くというのは、3月まで行政にいたがなかなか難しかったというのが正直なところである。半年間在宅期間があったが、広報にもなるかもしれないが議会ホームページを見ても、資料の豊富さや状況も把握できて、すごく見やすかったと改めて思っている。

先ほどいろいろな角度と言ったが、やはり年齢や浜田に住んでいる人、または浜田にルーツがある方で市外に住んでいる人、いろいろな方から広聴ができるというこの議会報告会や市民一日議会、地域協議会との意見交換会や読者アンケート、議長なんでも

メール等々、すごく大切なものであり、もちろん私自身もいろいろな機会にかかわっていきたいと思っている。

特に読者アンケートについては、広報が届く方全てにチャンスがある。しかも最寄りのまちづくりセンターとの接点もあり、まちづくりセンターに行く機会もできる。本当によい制度だと改めて思った。

村武副委員長

今年、市民一日議会を初めて行って、本当に皆が言われたとおり、ルール決めなどは必要だと思うが、大変よい広聴機能でよかったと思っている。ただ、あれもやりたいこれもやりたいという感じで膨らんできているところもあるので、バランスは考える必要がある。

先ほど沖田委員が、業界団体との意見交換会ということも言われたが、今日、この場にも何人か行っておられたが、浜田高校に行って高校生との意見交換があった。全員に、私が議員をしていると言っているわけではないが、その中に何人かに、仕事としてこういうことをしていると言った際、こんなに話が言いやすい議員なのだみたいな、それは私だけではなく多分皆もそうだと思うが、やはりそうやって、行って話をするとすごく話しやすいということがわかり、聴いてもらえるのだという、そういうイメージが変わるのかなと思った。高校生との意見交換というのも本当に、やってみたい。今日は高校1年生だったのだが、大変しっかりとした意見を皆述べていたので、高校生との意見交換会もやってみたいとは思ったが、最初に言ったように、あれもこれもとするのも大変なところもあるので、そこはしっかり皆と議論して整理していく必要があると思う。

それとはまだ議会だよりの読者アンケートだが、先ほど村木委員が、これは全世帯にとおっしゃったので、今の段階だとアンケートの回答数が少ないので、もう少し上げていく何かを考えていく必要があるのではないかと考えている。

三浦委員長

どの取り組みも意味や目的があって始めているので、それぞれにメリット・デメリット、課題もあるが、目的があって実施されているものと理解している。ただ、いろいろと、コロナの状況とといったものも変わってきている中で、取り組みに重複感が出てきている部分も、今後もっと出てくるのではないかとこのところか

ある。そのあたりを整理しながら、全体的に整理して、かつ、さまざまなチャンネルを設けつつ、広聴機能が向上していくように整理を今後も進めていきたい。

今日皆からいただいた意見も参考にして、また引き続きこの整理は進めていきたいと思っているので、今日は意見聴取させていただいたところでとめて、またこちらから少し問いかける形で進めていきたい。ほかに何かあるか。

( 「なし」という声あり )

意見に感謝する。この件については以上で終わりにしたい。

## (2) その他

三浦委員長

何か関連して皆からあるか。

( 「なし」という声あり )

では次に移る。

## 3. その他

### (1) 市議会HPについて

三浦委員長

小寺書記から説明をお願いします。

小寺書記

特に資料はないのだが、今回皆に頭出しをさせてもらいたい。今、執行部のほうでホームページのリニューアルを来年度される予定にしている。議会の今のホームページは市が持っているものに附属するページという立ち位置である。やはり少し見にくいとか、情報が多くて整理できてないのではなどいろいろあるかと思う。どこが見にくくてどこがどうなったらよいかを、皆に洗い出しをしていただきたい。その中で、今の枠組みの中で実現できるものについてはやっていきたいし、それに伴ってどういうリニューアルが必要なかがわかれば、今のシステムの中で幾らか費用をかけてできるものなのか、それとも別でホームページを設けたほうがよいのかという議論につなげていけるかと思うの。例えばどこの市議会ホームページがこういう見せ方をしている、こういうのもよいのではという意見や、今の浜田市議会ホームページのここが少し見にくいのでこうなったらよいのではというところを、ご意見をいただきたい。これは今日ではなく、次回の委員会までというところで皆にお願いしたい。

三浦委員長

ということでホームページについて少し皆から、リニューアルについてというか、現状を見ていただき、改善点があればその改善点についてご提案いただきたい。これはまた次回協議ということでよいか。また議題を設定して皆から意見を伺いたい。少し、他市議会の状況なども個々に整理する、今の浜田市議会ホームページを見ていただき、もう少しこういう動線にしたほうがわかりやすいのではないかとか、さまざまに伺いたい。こちらについてもよろしく願います。

ホームページについて、何かご質問等はあるか。

( 「なし」という声あり )

小寺書記

次回、来年1月に開催予定だが、その日に議題にできればと思っている。差し当たっては皆にメールでいつまでにとお願いしたいと思うので、よろしく願います。

## (2) miniについて

三浦委員長

小寺書記から願います。

小寺書記

( 以下、資料をもとに説明 )

三浦委員長

皆から意見があればお伺いしたい。よろしいか。

( 「はい」という声あり )

では1月1日に発行したいと思う。新年のご挨拶が抜けているが責任を持って書かせていただく。申しわけない。

## (3) その他

三浦委員長

皆から、議題には上がってないが意見などあればお伺いしておきたい。特にないか。

( 「なし」という声あり )

では次回の委員会日程について、小寺書記願います。

小寺書記

レジュメの下方に記載があるとおりで、来年1月18日か19日に設定したい。議題としては先ほどあったホームページのことで、広聴機能の部分を整理したものを上げたいと思っている。

また、今実施しているはまだ議会だより読者アンケートの回答締め切りが、新しい年の1月4日としているので、こちらについては皆に、先月に決めた担当のまちづくりセンターへ回収の確認をしていただいた上で、集約した意見を各所管委員会に振る作業を

こちらでしたいと思っている。1月26日からの3常任委員会の前に設定したため、この日付となっている。

19日については午前中に議会運営委員会があるので、やるとすれば午後からというイメージでいる。皆のご都合が確認できればと思う。

三浦委員長

皆のご都合を伺う。18日、19日で難しいところはあるか。

《 以下、日程調整 》

では1月19日水曜日、午後1時30分。議会広報広聴委員会をこの場所で開催したい。また議題等は事前に皆にお知らせしたいと思う。もろもろ意見をまたまとめてきていただく作業もあるかと思うが、ご協力をよろしく願います。

以上になるが、よろしいか。

( 「はい」という声あり )

では長時間にわたりご協力に感謝する。以上で議会広報広聴委員会を終わる。

[ 15時 58分 閉議 ]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 三浦 大紀